

来週は卒園・卒業・修了式です。

来週は、いよいよ卒園・卒業・修了式です。今週の授業が本年度最後の授業となります。この一年間のお子様の成長はどうでしたか？子どもの成長の早さは、千差万別です。他のお子様と比較することなく、その子の成長を評価してください。1年前に比べると確実に成長していることが分かると思います。子どもたちの成長は、ご家庭の支援の賜だと思えます。本当にありがとうございます。これからも、ご家庭と連携を図りながら、将来の宝である子どもたちの成長のお手伝いをさせていただきたいと思っています。これまで通りのご支援を期待しております。よろしくお願ひ致します。

小3でも音読発表会が行われます。

先週、小低部2年生が、音読発表会を行いました。今週は、小中部3年生が音読発表会を、2校時目に行います。普段の成果が発揮出来ることを期待しています。人前での発表は、緊張するものです。そんな状況を経験することはとても貴重だと思います。音読の上手下手ではなく、人前で音読するという経験が、確実に子どもたちは成長させてくれると信じています。



小中部3年生は、5校時目にソロバン教室も実施します。指を使った計算は、脳の発達にも効果的です。楽しんで学習してくれることを期待しています。

「勇気」について

子どもたちに身に付けて欲しい徳目に「勇気」があります。詩人のゲーテは「お金を失うことは少し失うこと、名誉を失うことは多くを失うこと、勇気を無くすことは、すべてをなくすこと」と言っています。



例えば、他人に対して親切を心掛けたいと思ったとしましょう。しかし、そのように思っただけではだめで、それを行動で表すことができなければ意味がありません。親切な心を表現するには勇気が必要な場合が多いように思います。バスの中で、お年寄りに席を譲りたいと思っても、思い切って立ち上がって声をかけるには勇気が要りますし、人前で照れくさい気持ちも振り払わなければならない場合もあるでしょう。気が付いたり、頭の中で考えることが出来ても、勇気を出して行動を示さなければ無意味でしょう。

勇気とは、敵に対して勇敢に立ち向かったり、悪や不正を憎み、自分の危機も顧みずに戦ったりする、いわば外に向かっての行為を思い浮かべますが、前に挙げたような自分の内に向けての勇気もあると考えてみたいのです。内に向けた勇気を身に付けることは、子どもたちの大いなる成長には絶対必要なことです。言い換えると実践力ということかもしれません。本校での生活の中で、子どもたちが身に付けていけるように指導していきたいと思ひます。

2016年度 入園・入学・始業式について

次年度、入園・入学・始業式が変更されます。2月13日付でご案内したとおりです。次年度より、入園・入学式と始業式を分けて実施します。登校時間等も変わっていますので、ご注意ください。子どもたちが新しいスタートをきる事が出来るように、ご協力お願ひ致します。

銀行引き落としのご準備を

先週もお知らせしましたが、もう一度お知らせします。次年度の第1期分の銀行引き落としが3月14日(月)に行われる予定です。出費多端な折りではありますが、ご準備の程、宜しくお願ひいたします。

なお、本年度をもって退学を希望されるご家庭におかれましては、正式な退学届けをご提出願ひます。ご提出がない場合は、自動的に銀行引き落としが行われますので、ご注意ください。

